

## ◎6月1日（月）より再開します！

進級直後に休校となり、さらに休校延長、分散登校期間を経て、ようやく来週より通常に戻ります。朝読書（朝テスト）、朝学活から始まり、授業、給食、・・・終学活というこれまで当たり前のように過ごしてきた日常が当たり前ではなく、かけがえのない時間だったのだと、この休校期間中、改めて感じた次第です。Zoom 朝学活では、なぞなぞやクイズ、あいうえお作文に絵しりととり等、先生方が考えたお題に皆さんチャレンジしてもらいました。答えのない難問（珍問）や進路講話の復習クイズなどもあり、朝から頭をフル回転させなければ解けない問題もありました。先日の総合学習では、3年生の総合学習のガイダンスを実施しました。3年生の総合学習3本柱は、①新大オープンキャンパス、②国内英語研修、③クエストエデュケーションです。①、②については実施時期も含めて未定ですが、③については6月から進めていく予定です。

〔ある日の zoom 朝学活〕



## ◎学力推移調査、到達度テスト

分散登校日に実施しました。学力推移調査はこれまでとは傾向の違った、大学入学共通テストを意識した問題が出題されました。必ずできなかった問題の直し直しをしてください。到達度テストは、スタディサプリと連動したテストで、成績に反映するものではなく、自分が分かっている学習内容を明らかにするテストです。できが悪かったところはスタディサプリの動画を視聴し、確認テストで全問正解できるよう、地道に取り組んでください。

## ◎クエストエデュケーション（教育と探求社）

企業から出されるミッションにグループでアイデアを出し合い、解決策を見だし、提案するという活動を通して、“新しい未来を自分たちの手で作りだしていく”ことに挑みます。“ミッション”は教科書に、その答えもミッションそのものも載っていません。もちろん、先生方も正解は分かりません。皆さんの頑張りをそばで応援することしかできません。課題を解決するには、自らの手で、また、グループで協力して取り組む他ありません。今回の“たんきゅう”のきゅうは“究める”ではなく“求める”の“求”。受け身ではなく、主体的に取り組むことでしか得られないものがきっとあるはず。今年度は「朝日新聞社」「カルビー」「博報堂」「富士通」「三菱地所」「メニコン」の6企業から出されるミッションにチャレンジします！

## ◎進路講話

当初 4 月に予定されていましたが、コロナ渦により講師をお招きする事ができず、3 学年進路担当の林祐希による講話を実施しました。講話の内容は、①「大学ってどんなところ？」②「新入試制度と共通テスト」③「受験生になる前にすべきこと」でした。①では、高校と大学の違いについて、時間割を自分でつくることや朝自分で起きる等、現在の生活と大きくかけ離れた生活になることをイメージできたと思います。②では、来春から実施される「共通テスト」と「新入試制度」について、新入試改革のポイントとして、単に「知識・技能」を問うだけでなく、今後社会で生き抜くために必要な力「思考力」「判断力」「表現力」を多面的・総合的に評価する入試へ転換する等の説明がありました。そして、③では「中3の今、やっておきたい3つのこと」が紹介されました。

①学びたいこと、行きたい大学についてじっくり考える！	⇒ まずは志（目標）を！
②大学入試で求められる学力の基盤をつくる！	⇒ 基礎なくして発展なし
③上手な時間の使い方を身につける！	⇒ 規則正しい生活習慣が学習の土台

**\*進路について、ご家庭で話す機会を設けていただければと思います。**

## ◎進学・社会の動向

(リクルート発行資料“進路環境 DATA2019”より一部抜粋・編集)

<p><b>オープンキャンパス参加は 早期化の傾向</b></p> <p>2016 年調査では、5 割近くが高校 1 年時に参加している。学校見学や模擬授業によって、進学後の生活をイメージでき、目標の明確化につながる。早期の参加はより効果的である。</p>	<p><b>国立大の推薦、AO 入学者が 2 割に近づく</b></p> <p>2020 年入学者選抜改革が進む中、各大学でも志願者を多面的・総合的に評価する動きが活発化しており、国立大学協会は推薦や AO 等による入学者を 3 割に増やす目標を設定した。</p>	<p><b>入試に英語外部検定を 利用する大学が急増</b></p> <p>民間の外部検定を一般入試に利用する大学は 2016 年度 50 校から 2019 年 187 校と、3 年で 4 倍に増加。利用方法は検定のスコアを各大学の個別試験の得点に換算するパターンが最多。</p>
<p><b>多様な人と協働する力は 一層重要に</b></p> <p>この 5 年間で職場に人材の多様化（性別、年齢、国籍、雇用形態など）が進んだという企業は約 5 割。5 年先は更に多様化が進む見通し。多様な人材とチームを組み協力して働く社会で活躍するには、学校行事や探究活動等で協働する力を育む事が大切。</p>	<p><b>企業は コミュニケーション能力を最重視</b></p> <p>大卒等の新卒採用で企業が重視するトップ3は、 1 位「コミュニケーション能力」 2 位「主体性」 3 位「チャレンジ精神」 困難な状況でも主体的に周囲を巻き込みながら課題解決に取り組む資質・能力が求められている。</p>	<p><b>AI との共存が求められる時代へ</b></p> <p>AI が自分の業務を代替する可能性について、働く人の約 6 割が「一部代替が可能」と回答した。これからは、ヒトと AI のそれぞれの得意を生かしながら、AI と共存する時代。AI が代替できない創造性などの人間的資質を養い発揮していく志向が必要。</p>

**\*進路に関する情報・動向にアンテナを張って早め早めの準備を！**

## ◎当たり前反対語

ところで、「当たり前」の反対語は？「当たり前」とは「あることが当然」。その反対語は「有り難し」→「有り難い」→「有り難う」「ありがとう」。そう、「感謝」なのです。毎日ご飯が準備されていること、友達に会えること etc…当たり前じゃない奇跡に感謝したいものですね。